



大船渡水産振興センター「復興板」

平成31年3月25日発行 第73号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成31年2月28日現在の管内県営漁港関係施設災害復旧工事の進捗率は、79%となっています。
(平成31年2月28日現在)

| | 災害査定 (H29再調査決定額) | | 発注 | | 進捗状況 | | 完成 |
|------|---------------------|--------------|-----|-------------|-------------|----------|-----|
| | 件数 | 本工事費 (千円) | 件数 | 発注額 (千円) | 出来高 (千円) | 率 (%) | 件数 |
| 漁 港 | 242 | 34,194,563 | 240 | 32,552,001 | 32,434,897 | 95 | 228 |
| 漁港海岸 | 11 | 35,568,708 | 11 | 27,854,723 | 22,282,527 | 63 | 3 |
| 漁 場 | 2 | 498,880 | 2 | 498,880 | 498,880 | 100 | 2 |
| 合 計 | 255 | 70,262,151 | 253 | 60,905,604 | 55,216,304 | 79 | 233 |

・ さっちゃんNEWS part 1

<ワカメの刈取りが始まりました>

3月上旬から、ワカメの刈取りが始まり、浜では塩蔵ワカメの作業が行われています。

3月14日の本漁期の初入札では、大船渡管内の塩蔵ワカメの最高値は大船渡市漁協末崎産の10kgあたり19,019円で、昨年より2,420円高い単価となりました。

一方、上場数は約22トンで、昨年の約半分となっています。冷水の接岸によりワカメの生育が遅れていることが主な要因で、今後の成長の回復が期待されます。



<イサダ漁が盛漁期を迎えています>

2月21日にイサダ漁が解禁となり、大船渡市魚市場で初水揚げがありました。

3月22日現在、大船渡市魚市場でのイサダの水揚量は3,313トン、金額は1億9千4百万円となっています。同日現在の昨年の値と比較すると、水揚量は約1.1倍、金額は約8割となっています。また、震災前（H20～22の平均値）と比較すると、水揚量は同程度、金額は約1.4倍となっており、1kgあたりの単価（58円）が昨年より21円低く、震災前より17円高くなっています。

なお、本県の漁獲割当量は15,000トンで、4月下旬まで漁が続く見込みです。



★★★_スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

(1) 共同利用施設等の復旧状況

漁協や漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

| 事業年度 | 施設名 | 事業主体 | 完成 |
|--------|----------|------------|---------|
| 平成30年度 | 水産物荷捌き施設 | 大船渡市漁業協同組合 | 平成31年3月 |

(2) 大船渡市魚市場の水揚げ状況（平成31年1月1日から2月末累計）

| 平成31年 | | 平成30年 | | 震災前 (H20~H22の平均) | | 前年比 (H30/H29) | | 震災前(H20~ H22の平均)との 対比 | |
|--------|---------|--------|---------|---------------------|---------|------------------|-------|-----------------------------|-------|
| 数量(トン) | 金額(千円) | 数量(トン) | 金額(千円) | 数量(トン) | 金額(千円) | 数量(%) | 金額(%) | 数量(%) | 金額(%) |
| 3,569 | 393,607 | 3,456 | 364,862 | 1,292 | 206,677 | 103 | 108 | 276 | 190 |

出典：いわて大漁ナビ

平成31年1月から2月までの大船渡市魚市場の水揚量は3,569トンで、昨年と同程度、震災前の約2.8倍でした。主な水揚げ魚種は、マイワシ(1,414トン、9千万円)、イサダ(831トン、5千万円)、サバ類(773トン、6千8百万円)などでした。震災前より水揚量、金額ともに増えた理由は、マイワシとサバ類が定置網で好漁だったことが挙げられます。

・ さっちゃんNEWS part2

< 広田湾漁協青壮年部気仙支部が水産庁長官賞を受賞しました >



発表風景(発表者:大坂哲也支部長)

2月28日、3月1日に東京で開催されたJF全漁連主催の「第24回全国青年・女性漁業者交流大会」において、広田湾漁協青壮年部気仙支部が岩手県の代表として「広田湾エソイシカゲガイ養殖の歩み～新・ケセンの黄金物語」と題して発表を行い、水産庁長官賞を受賞しました。

この発表は、広田湾漁協気仙支所が発祥で全国でも広田湾漁協のみで養殖が行われているエソイシカゲガイが、震災を乗り越えて生産量を増やしていく過程をまとめたもので、審査員からも高く評価されました。

< 赤崎町に水産物荷さばき施設が完成しました >

大船渡市漁協が国庫補助事業を活用して赤崎町の蛸ノ浦地区に建設していた水産物荷さばき施設が、平成31年3月12日に完成しました。

この施設は、殻付カキ等の集出荷作業施設で、東日本大震災津波により全壊したため、防潮堤工事の完成を待って整備されました。



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部
大船渡水産振興センター〔担当 宮田〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp